

大分県立
芸術文化
短期大学

OITA
PREFECTURAL
COLLEGE OF
ARTS
AND CULTURE

大学広報誌 エピストゥラ

Epistula

winter
2015

特集

芸短フェスタ2015報告

釜山外国語大学編入学1期生
NEW FACE!

【表紙モデル】専攻科造形専攻2年：浦丸真太郎さん、河原貴子さん

vol. 41

芸 短 フ ェ ス タ 2 0 1 5 報 告

A group of five female students are standing in front of the Hama University of Foreign Studies building. They are all smiling and holding up various items. From left to right: the first student holds a book titled 'JAPANESE'; the second student holds a sign with the Japanese character 'に' (ni); the third student holds a book titled 'JAPANESE'; the fourth student holds a book titled 'JAPANESE' and a pink bag; the fifth student holds a sign with the Japanese character 'に' (ni). The building behind them has a sign that reads 'HAMA UNIVERSITY OF FOREIGN STUDIES'.

国際総合学科の卒業生(2015年3月卒業)の5名が、9月から釜山外国語大学3年次として編入学しました。本学は、2014年10月に韓国・釜山外国語大学と国際交流協定を締結し、「編入学受け入れに

目標なる覚書」を交わしました。今回同大学への編入学が決まった5名の学生たちはこの制度適用の第一期生になります。釜山にいる5名に目標などを聞きました。

◆**韓語国文学部**

◆足立小夏さん
芸文短大では韓国語の授業などで日常から韓国語に触れる努力をしました。釜山外大では自信を持って韓国語をしるようになるのが目標です。韓国人の友達も沢山作ります。

◆井上万由子さん
釜山外大で韓国語能力試験6級合格を目標に日々頑張っていました。将来、韓国語を勉強して、将来、不安を持ち、編入を悩まじ

日韓の架け橋になれる職業に就きたいです。

◆**ビジネス日本語学部**

◆寺崎真由さん
私は芸文短大で韓国語学実習を体験しました。そして、韓国と日本の文化や言葉を学ぶ、韓国に関連した仕事に就きたいと思いました。今後さらに韓国語を上達させたいです。

◆杉本麻香さん
私は当初、韓国での生活に不安を持ち、編入を悩まじ

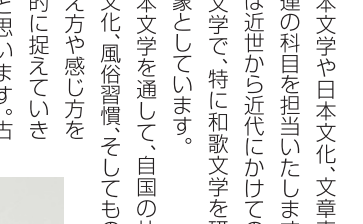
た。しかし、先生が親身になって相談のつて下さり、「字がちゃんとしたと考えよう」と。韓国で多くのことを学びたいです。

◆佐々木麻衣さん
私は芸文短大で語学に力を入れ、韓国語学実習にも参加しました。釜山外大では韓国語をさらに深く勉強したいです。多くを学び、経験して、充実した年間を送りたいです。

日本文学を通して 世界へ視野を広げる

日本文学や日本文化、文章表現関連の科目を担当いたします。専門は近世から近代にかけての日本文学で、特に和歌文学を研究対象としています。

日本文学を通して、自国の社会や文化、風俗習慣、そしてものの考え方や感じ方を歴史的に捉えていきたいと思えます。古を知るということば、まさに今を知ることでもあります。それらの認識は世界へ視野を広げるとともに、他国を理解することに繋がっていくはず



です。併せて、私たちが送る社会生活の根幹を成している言葉（日本語）を重視し、様々な言語活動を通して、的確に把握する力と論理的に表現する力を養い、コミュニケーション力の向上を目指していきます。

『大日のタベ』^⑫では、音楽科の川瀬麻由美教授(ヴァイオリン)、宮添奈央子講師(ピアノ)、清水万敬教授(ホルン)の3氏がバツハ、ベーターウエン、ブラームスの作品を取り上げました。「第6回ピアノコース演奏会」でピアノ音楽への誘いには10名の学生が出演しました。そして、12月のはじめの土曜日、「国際理解シンポジウムミクロネシア地域と日本のつながり」「対日感情」の形成と国際教育協力を考える」を開催しました。

これまでのイベントにお越しいただきました皆さま、ありがとうございました。

12月 最終盤の12月。フィナーレを飾る音楽・アート系イベントをぜひお楽しみください。最新情報は本学ホームページでご覧いただけます。

[開催日時、場所、料金]

オペラサークル Opera Piena di Vita
第20回公演 オペラ『フィガロの結婚』



●9日(水)18:30開演
 ●本学音楽棟小ホール
 ●無料

小林道夫客員教授
声楽特別レッスン(聴講)

●12日(土)13:00開始予定
●本学音楽棟小ホール
●一般1000円、本学学生・高校生以下は無料
※電話予約097-545-8758

市民参加による巨大モザイクアート展
あなたへのメリークリスマス

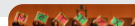


●13～25日(日～金)
●大分駅北側・中心市街地
●無料
※13日にオープニングイベント

創作音楽劇 FELIX
「メンデルスゾーンの生涯」

- 15日(火) 18:30開演
- iichiko総合文化センター音の泉ホール
- 無料

芸短音楽科コンサートシリーズNo.83
管弦打コースコンサート ～師走に心温まるひとときを～



- 16日(水) 18:30開演
- iichiko総合文化センター音の泉ホール
- 無料

パーカッショングループ
ミレニアム17thコンサート

●18日(金)19:00開演
●iichiko総合文化センター
音の泉ホール
●一般1000円、学生800円

学生たちの学びの成果を披露する「芸短フェスタ2015」もいよいよ終盤となりました。芸術文化の秋を恒例のものから新企画まで様々なイベントで彩りました。ごこまでのイベントを振り返りました。

9月、専攻科造形専攻プロジェクトデザインコースの作品展「交差展」art exhibition ①で始まった芸短フェスタ2015。初日は観客を前に、学生が自分の作品のプレゼンテーションや質疑応答を行いました。代表を務めた小林初美さん(2年)は「直接意見を頂くことは、とても貴重なことで

した今後の制作の参考にさせて
頂きたいです。」と振り返りまし
た。音楽科前期実技試験成績優
秀者による「若さあふれるコンサ
ート」②、専攻科造形専攻メディ
アデザインコースの学生3名に
よる巡回型グループ展「idea
i Fit」③と続きました。

デザイン専攻メディアデザイン（於保セミ）の学生たちが現地で長期創作活動・ワークシヨップなどに取り組みました。音楽科最大のイベント「**第51回定期演奏会**」⑥ではモーツァルトとラヴェルのピアノ協奏曲をメインに置き、そこに合唱曲としてブラームスのドイツ・レクイエムより第2楽章、そしてムソルグスキー作曲「ラヴェル編曲の組曲『展覧会の絵』」を配しました。

「**第54回芸術祭**」⑦はステージ・出店やファッションショーでにぎわいました。続いて「佐藤美枝子客員教授 声楽公開レッスン」（聴講）⑧、学生による国際理解教育研究の成果発表ワークシ

「ヨッパ」⑨、「地域ふれあいアート講座」(GEETANEWSで紹介)を開催しました。

11月

11月はスロヴァキア大使やスミソニアン博物館関係者らが出演するなど、国際色豊かな秋になりました。「スロヴァキア・ウィーク」⑩、「大分国際車いすマラソン大会 第6回交流イベント」海外選手とTALK SHOW⑪、「東アジア交流ウィーク」⑫、「多文化理解論 特別公開イベントの「ミニアメリカ映画祭」と盛りだくさんでした。初企画の音楽イベント「芸短教員によるジョイントコンサート」⑬

日出、国東で地域巡回演奏会 玄海で出前演奏会

地域巡回演奏会を日出町の川崎小学校と国東市の国東中学校で、出前演奏会を佐賀県玄海町の玄海町民会館で9月に行いました。

川崎小学校では音楽科学生ら39名が全校児童や地域住民ら約400名を前に、オペラハイライト・ピアノ・打楽器アンサンブル・金管五重奏・女声合唱を披露。ラストには「ビリーブ」(杉本竜一)を児童と一緒に歌いました。

国東中学校でも音楽科学生ら45名が全校生徒や地域住民ら約200名を前に演奏。ピアノソロでは同校出身の小田弥生さん(音楽科2年)が幻想即興曲(シヨパン)などを披露。小田さんは「自分たちが専門としている音楽を演奏するここで中学生になじみのないクラ

シックを少しでも知ってもらいたい」と語り「とができた嬉しいです」と語りました。

玄海町民会館での出前演奏会は大分から離れること300km。玄海町教育委員会にお招きいただき実現しました。ピアノソロ、連弾、バケツの打楽器アンサンブル、金管五重奏、オペラ、そして35人編成の



地域ふれあいアート講座を開催しました



学生と児童が美術を通して交流を図る「地域ふれあいアート講座」を九重町立野上小学校で10月20日(火)に開催しました。美術科美術専攻の28名が参加して「野上自慢かるた」作りを行いました。学生たちは「ラジウ」などの技法を児童に教え、かるた作りをサポート。学生から様々な絵画技法を習った児童たちは、ビーズや研磨されたガラス片、毛糸などのコラージュ素材を切つて、絵に貼り、ローラーやスポンジ、霧吹きを使って絵の具を塗りました。児童た

ちは「いつもと違う絵の描き方を知って楽しかったです」と話しました。この講座をまとめた3名の学生は、小学生の頃に「絵は楽しい」って感じたことを思い出しました。芸術の道を突き進む自分の原点に戻った気がしました。「日野もみなさん」、「技法を教えると、児童たちの作品世界が様々に広がり、その無限の可能性を感じました」(液野萌子さん)、「児童たちは自由で、魅力的でした。まるで画伯のようでした」(新留紗智さん)とそれぞれ振り返りました。

大分駅「駅ナカコンサート」 「駅ソトコンサート」に出演

大分駅で9月27日(日)、「駅ナカコンサート」が開かれ、音楽科の管楽器の学生5名が金管五重奏で出演しました。大分駅利用者に音楽を楽しんでいただくことを目的にJR九州大分駅が主催。演奏曲はムソルグスキ「展覧会の絵」より「プロムナード」から始まり、「となりのトトロ」「星に願いを」などが続き、駅にいられた方々が立ち止まって耳を傾けていました。

は快活な「オーシャンゼリゼ」。華々しくコンサートは終了しました。演奏した学生たちは「構内は音の響きも良く、気持ちよく演奏できました」「オープンな場所で演奏ができて、すごく楽しかったです」などと感想を述べました。

また、10月31日(土)のハロウィンイベントで、駅ソト「コンサート」が開かれました。多くの人が行き交う駅の北側での演奏です。

音楽科・専攻科の学生9名が打楽器と金管五重奏で出演しました。勇壮なファンファールに始まり、打楽器による「Greenness to Heaven(ハーマンへの挨拶)」、バケツを楽器にした「Stokin Garbage!」を軽快に演奏。金管五重奏による、駅にちなんだ「A列車で行こう」や「汽車メドレー」、そして「となりのトトロ」を披露し多くの拍手をいただきました。フィナーレは「銀河鉄道999」を奏で、ハロウィンの「駅ソト」を音楽で盛り上げました。



赤い羽根応援プロジェクト2015が始動、県庁で記者会見

今年度で3年目となる学生主体の「赤い羽根応援プロジェクト2015」が始まりました。10月29日(木)には県庁で記者会見を開催。情報コミュニケーション学科2年の小森麻以さんと星野里緒菜さん、美術科2年の山中彩友美さんの3名が、ボールペンのデザインに込めた思いや活動状況、抱負を発表しました。デザインを担当した山中さんは「小鳥と赤い羽根のハートを描きました。多くの人に親しまれるよう、小鳥は丸く、赤い羽根でかたまったハートは募金をしていただいた方の優しく温かい心を表現しました」と語りました。

このプロジェクトでは2000円以上の募金につきボールペンを1本贈呈しています。本学地域活動室(人文棟)や事務局、文具商組合加盟の二部文具店でも取り扱っています。ぜひ赤い羽根共同募金にご協力ください。



4年制大学に編入学した卒業生と交流会

4年制大学に編入学をした卒業生と在学生の交流会を9月4日(金)に行いました。情報コミュニケーション学科の卒業生を中心に、大分大学や山口県立大学ほか、北は岩手大学から南は沖縄の名校大学まで各地に編入学した卒業生が本学に集まってくれました。卒業生たちは編入学試験の内容やその対策方法、面接試験の受け方、編入学後の大学生活などを詳しく説明。これから編入学を志望する在学生たちも今の不安な気持ちや迷っていることなど、積極的に質問して



いました。在学生からは、「勉強の仕方がわかってとても参考になった」「就職の人とは違うという不安があったが、先輩方の話を聞けてその不安が少し弱まった」などの感想が聞かれました。卒業生たちも、「後輩の役に少しでも立てばうれしい」「私たちの芸短愛を伝えたい」など、在学生との交流を深めたようでした。今年もすでに、佐賀大学文化教育学部に4名(国際総合学科2名、情報コミュニケーション学科2名)、情報コミュニケーション学科2名の学生が合格しています。

デザインキャンプ100 @ 宇曾山荘を行いました

美術科デザイン専攻フロダクトデザインコースは8月7、8日(金、土)に「第3回デザイン合宿・デザインキャンプ100@宇曾山荘」を行いました。これは2日間アイディアスケッチ100案創出を目標としています。スケッチのスキルとデザイン思考を養うためのトレーニングですが、互いに話をしたこともない短大1年生から専攻科2年生まで4学年が一緒に机を並べ同じ課題に取り組みという、普段の授業とは違った環境でコミュニケーション力も養います。本年度は短大1年生の2名、短大2年生の3名から優秀作品が選ばれました。



瀬山詠子講師の 声楽公開レッスンを行いました



瀬山詠子講師の声楽公開レッスンを8月の3日間、実施しました。日本歌曲普及の先達のソプラノ歌手であり、東京藝術大学名誉教授で二期会会員の瀬山先生による厳しくも愛のあふれる指導が繰り広げられました。音楽科と専攻科の声楽コースの学生が真剣に受講しました。

辛島輝治講師によるピアノ特講 (公開レッスン)を実施しました

東京藝術大学名誉教授で本学講師の辛島輝治先生の集中講義「ピアノ特講」が9月14日(木)17日(月)〜木(土)に行われました。ピアノコースの専攻科音楽専攻1、2年生及び音楽科2年生の28名が「ピアノ特講」(公開レッスン)を受講しました。受講した学生は「どの曲を弾くにあたって、必ず『自分の作りたい音楽のイメージをもつ』を教わりました。そして『自分の奏でる音をいかによく耳で聴くか』が大切であると講義を通して実感しました。また、人のレッスンを聴講し、客観的に音楽を聴くことで普段気づかない発見があり、とても勉強になりました」と話しました。



留学生がスピーチコンテストで健闘

国際総合学科の留学生・潘俊雅(はん・しゅんが)さんが10月31日(土)に開催された「OITA学生提言フェスタ」で「留学生によるスピーチコンテスト」に出場しました。潘さんは「日本式挨拶」をテーマに発表。日本と中国のあいさつ文化の違いやあいさつを巡る「コース」について、力強くて淀みのない日本語で5分間、堂々とスピーチしました。潘さんはスピーチでは緊張はなかったです。頭の中に、まるで映画のように自分の動きや言



日々是精進

日頃の努力が、賞の受賞や商品化など
結果に繋がりました。

美術科

◎「TETSUSON2015」で長坂常賞を受賞

学生クリエイターのための卒業合同展示会「TETSUSON 2015」で専攻科造形専攻1年(プロダクトデザイン)の佐藤寿喜さん(出品時は美術科2年)が長坂常賞を受賞しました。東京で行われた公開審査会では建築家の長坂常氏・美術家の野又穫氏・アーティストの中村政人氏の3氏が審査員を務めました。佐藤さんは、第53回美術科卒業・修了制作展の「簡スツール」を出品。審査では「自分が産み出す物(プロダクト)や事(イベント・システム)に誰がお金を出して援助し誰が買うのか、売買や物流など世の中をもっと勉強しなさい」と厳しい指摘がありましたが「すべての面に強度を求めた新しいカタチで単純に面白い」と評されました。



音楽科

◎第37回滝廉太郎記念コンクール

【声楽／一般】
▶2位 山崎由夏(音楽科2年) ▶3位 松本利則(音楽科1年)

◎第43回県音楽コンクール

【ピアノ／大学・一般】
▶奨励賞 牟田口七海(音楽科1年)
【声楽／大学・一般】
▶1位・特賞 甲斐圭菜(音楽科2年) ▶2位 松本利則(音楽科1年) ▶3位 高橋紗綾(専攻科2年) ▶奨励賞 上田愛(音楽科2年)
【弦楽器／大学・一般】
▶2位 黒木真子(音楽科2年)ヴァイオリン

◎全日本学生音楽コンクール北九州大会声楽部門

▶入選 磯田健太郎、甲斐圭菜

◎第21回宮日音楽コンクール声楽部門 予選

▶入選 橋本夏希(専攻科2年)

◎第7回 東京国際声楽コンクール 大学の部

▶入選 橋本夏希(専攻科2年)

学内ギャラリー作品介绍(9・10月)

学内ギャラリーでは、美術科の学生の作品を展示しています。午前9時から午後6時まで一般公開しています。学外からお越しの際は、大学事務局にお声掛けください。

※12月以降の予定は裏表紙のEvent Calendarに掲載しています。



「corlo」

デザイン専攻(於保ゼミ)2年生



「OTO GI BAKO」

専攻科造形専攻1年 阪本真輝



「裸足×華」

美術専攻1年 川崎麻由



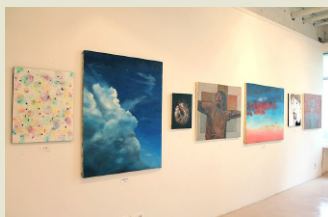
「ちゃちゃれもん展」

専攻科造形専攻2年 ちゃちゃれもん



「少女☆戦士」

デザイン専攻2年 下田真帆



「4人のごちゃごちゃ」

美術専攻1年
安部純平・液野萌子・中尾一菜子・藤原美紗



「ZINE展」

イラストレーション特講(網中いづる先生)
デザイン専攻2年生

表紙の顔



本広報誌の表紙モデルは、各学科から“頑張っている学生”に登場してもらっています。

今号は、専攻科造形専攻ビジュアルデザインコースの浦丸真太郎さんと河原貴子さんです。2人は「S&K」というブランドで活動。大分フォーラス1階の店舗「DISCOVER BY ACID GALLERY(ディスカバーバイ アシッド ギャラリー)」にデザ

イン・制作したアクセサリを出品しています。浦丸さんは「色々な人と知り合い、つながることができて嬉しいです。夢に向かってのエネルギーになります」、河原さんは「値段や相場などの商業的なことのほか、ディスプレイなども学べて勉強になります」と話します。2人の作品は今後、PARCO原宿店などへも出品予定です。



Instagramで
アーティスト情報を
発信しています!

キャンパス整備へ「芸文短大オープンスクエア」

芸短フェスタが残りわずかとなりました。この祭典は例年学生たちが大学生活を学外の皆さんに知って頂くために自主的に続けていて、腕によりをかけた演出がすっかり定着しています。

残るは《Opera Piena di Vita第20回公演 オペラ「フィガロの結婚」》(12/9)、《小林道夫客員教授声楽特別レッスン(聴講)》(12/12)、《市民参加によるモザイクアート展》(12/13~25)、《創作音楽劇「メンデルスゾーンの生涯」》(12/15)、《管弦打コースコンサート〜師走に心温まるひとときを〜》(12/16)、そしてトリを飾るのが《パーカッショングループミレニアム17thコンサート》(12/18)と六つのイベントとなりました。毎年恒例の創作音楽劇と音楽科の4演目の他に、今年は市民参加のイベントが企画されています。モザイクア

ートとはいったい何をするのでしょうか?楽しみます。

さて、本学の芸術系の校舎が老朽化したために、今後数年をかけて大規模な改修をすることになりました。県から多額の資金が出費されることから、このような改修が必要とされる理由や、この改修によって本学がどう変わるかなど、できるだけ本学の事を県民の皆さんに知って頂くことが大切です。このため、キャンパス整備のことや大学のことを理解して頂く機会として、12月19日(土)にiichiko総合文化センターで「芸文短大オープンスクエア」を開催することにしました。新しいキャンパスイメージのパネル展示のほか、俳優、画家として活躍されている榎木孝明さんとのトークショー、学生達によるミニコンサートなどを行います。多くの県民の皆さんに会場に来て頂きたいと思っています。

竹田キャンパス通信

こちら竹田キャンパスも寒さが身に染みる季節となりました。夏から秋の間は、合宿やお祭りなど様々なイベントで学生達が地域の方々、そして子ども達と触れ合う機会はけっこうあるのですが、寒くなってくるとなかなか学生達の声を聞く機会が減ってきます。ですが、寒い中でもお鍋をしたり温泉行ったり、お鍋をしたり…。まあ基本寒いですが、楽しめます。

どうぞみなさん感性を磨きに遊びに来てください。

※竹田キャンパスは、廃校となっていた下竹田小学校(竹田市直入町)を利用して、地域と密着したさまざまなアート活動を行っています。



サービslラーニング報告

「大学で学んだことを地域で活かし、活動することで学びの意義を知る」ことを目的としたサービslラーニング。「単なるボランティア」では終わらない、主体性・協調性・論理性のある「社会人力」を育成するプログラムを組んでいます。詳細や他の活動は情報コミュニケーション学科HP(<http://oitapc-cis.jp/>)・同facebookでご覧いただけます。

おおいたスポーツ広場に参加しました

ホームタウン推進協議会が主催する「おおいたスポーツ広場」に参加しました。大分を本拠地として活躍する大分トリニータ、大分三好ヴァイセアドラー、バサジィ

大分、大分・愛媛ヒートデビルズの選手と市民が触れ合い、応援の輪を広げていくことで、大分の魅力ある街づくりを進めるイベントです。4チームの選手たちは子供たちとミニゲームなどで交流を深めたほか、デモンストレーションで高い技術を披露。スタッフとして参加した学生たちはイベント運営を経験するとともに、選手の素晴らしい技術やかっこよさに興奮していました。



羅漢寺の参道整備へ活動しています

地域総合連携研究室【地総研】では「羅漢寺 参道整備プロジェクト」を始めました。中津市耶馬溪の羅漢寺では、江戸時代に整備された参道が長期間放置されています。かつては数百人の僧侶が維持してきたのですが、

得て、持続可能な環境整備の仕組み作りを目指します。10月に次期住職の太田英華さんが講義を行い、11月7日(土)には学生25名が現場活動を行いました。あじさい移植は来年5月を予定。



みんなの消費生活展に参加しました

「第38回みんなの消費生活展」に参加しました。みんなの消費生活展は、大分市や市の消費者団体が毎年開いているもので、会場にはくらしに役立つ情報を紹介する12のコーナーが設けられています。ビーチグラス写真立て作成ワークショップと赤い羽根ボールペンプロジェクトで参加しました。ビーチグラス写真立て作成ワークショップは佐賀関の海岸で集めたビーチグラスとプラバンを使って写真立てを作りました。赤い羽根ボールペンは、本学の学生がデザイン、大分県共同募金会がゼブラの協力で作成したものです。200円寄付していた人に1本差し上げています。佐藤・大分市長にも協力していただきました。



学友会情報

第54回芸短祭「それいけ!芸短生」をみなさまのおかげで無事終えることができました。ありがとうございました。さて、只今学友会では「クリスマスパーティー」に向けて準備をしており、実行委員を大募集しています! 毎週火曜日の放課後、101教室で会議を行っていますので、ぜひ、のぞいてみて下さい。見学だけでもOKです。

学生募集に関するお知らせ

●一般入学試験(前期日程試験)

■本学独自試験 ※全学科実施

- ◎出願期間/平成28年1月12日(火)~26日(火)
- ◎試験日/美術科・音楽科:平成28年2月12日(金)、13日(土)
国際総合学科・情報コミュニケーション学科:平成28年2月12日(金)
- ◎合格者発表/平成28年2月19日(金)

■大学入試センター試験利用 ※音楽科、国際総合学科、情報コミュニケーション学科

- 音楽科:英語と国語は、本学独自試験かセンター試験のどちらかを選択
- 国際総合学科:英語と英語を除く全教科・全科目から1科目
- 情報コミュニケーション学科:国語と国語を除く全教科・全科目から1科目
- ◎出願期間:平成28年1月12日(火)~26日(火)
- ◎試験日:大学入試センター試験実施日のとおり。
音楽科は、平成28年2月12日(金)、13日(土)に音楽基礎科目及び実技試験を実施。
- ◎合格者発表:平成28年2月19日(金)

●一般入学試験(後期日程試験)

■本学独自試験 ※美術科、音楽科、国際総合学科

- ◎出願期間:平成28年2月25日(木)~3月4日(金)
- ◎試験日:平成28年3月12日(土)
- ◎合格者発表:平成28年3月15日(火)

■大学入試センター試験利用

※国際総合学科、情報コミュニケーション学科

- 全科目、全教科から2科目
- ◎出願期間:平成28年2月25日(木)~3月4日(金)
- ◎試験日:大学入試センター試験実施日のとおり
- ◎合格者発表:平成28年3月15日(火)

●専攻科入学試験 ※造形専攻、音楽専攻

- ◎出願期間:平成27年12月14日(月)~18日(金)
- ◎試験日:平成28年1月23日(土)
- ◎合格者発表:平成28年2月3日(水)

Pick up Event

■芸文短大 オープンスクエア
ー「今」と「これから」~地域とともにー

本学の魅力を発信しキャンパス整備の必要性について理解を促すイベントです。中山学長と榎本孝明さんのトークやミニコンサート、作品展示などを行います。

- ◎日時:12月19日(土)13:00~15:30
- ◎会場:iichiko総合文化センター1階アトリウム ◎料金:無料



■第54回 美術科 卒業・修了制作展

美術科と専攻科造形専攻の学生の集大成となる作品展。県立美術館で開催します。

- ◎期間:2016年2月2日(火)~7日(日)
- ◎時間:10:00~19:00(最終日は16:00まで)
- ◎会場:大分県立美術館 1階 展示室A、3階 展示室B
- ◎料金:無料

■芸短音楽科コンサートシリーズNo.84 声楽コース演奏会~声の響宴~

音楽科声楽コースの学生の学習成果を合唱・独唱・オペラハイライトで披露します。

- ◎日時:2016年2月10日(水)
18:00開場/18:30開演
- ◎会場:iichiko 音の泉ホール
- ◎料金:無料



■第54回卒業演奏会

音楽科2年次・卒業予定者の中から、成績優秀者が選抜され出演します。

- ◎日時:2016年3月22日(火)17:00開場/17:30開演
- ◎会場:iichiko 音の泉ホール
- ◎料金:無料

■第32回修了演奏会

専攻科音楽専攻2年次の修了予定者の中から、成績優秀者が選抜され出演します

- ◎日時:2016年3月23日(水)17:00開場/17:30開演
- ◎会場:iichiko 音の泉ホール
- ◎料金:無料



Event Calendar

12月 December

- 1~7日(火~月) 学内ギャラリー「ストライプ」
- 12日(土) 小林道夫客員教授 声楽特別レッスン(聴講)
- 8~14日(火~月) 学内ギャラリー(内容未定)
- 9日(水) Opera Piena di Vita
第20回公演オペラ「フィガロの結婚」
市民参加による巨大モザイクアート展
創作音楽劇「メンデルスゾーンの生涯」
- 13~25日(日~金) 学内ギャラリー「彫刻と絵画」
- 15日(火) 芸短音楽科コンサートシリーズNo.83
管弦打コースコンサート
~師走に心温まるひとときを~
- 15~21日(火~月) パーカッショングループミレニアム
17th コンサート
- 16日(水) 芸文短大 オープンスクエア
ー「今」と「これから」~地域とともにー
- 18日(金) 冬期休業開始
- 19日(土)
- 23日(水・祝)

1月 January

- 4~10日(月~日) 学内ギャラリー「16億年の記憶」
- 11~16日(月・祝~土) 学内ギャラリー「623展」
- 17~22日(日~金) 学内ギャラリー「町」
- 25~2月1日(月~月) 学内ギャラリー(未定)

2月 February

- 2~7日(火~日) 第54回美術科卒業・修了制作展
- 2~8日(火~月) 学内ギャラリー
「ディ・アナザーワールド」
- 4,5日(木、金) 国際総合学科、情報コミュニケーション学科
卒業研究発表会
- 8日(月) 春期休業開始
- 10日(水) 芸短音楽科コンサートシリーズNo.84
声楽コース演奏会~声の響宴~

3月 March

- 22日(火) 第54回卒業演奏会
 - 23日(水) 第32回修了演奏会
 - 24日(木) 第54回卒業式・第36回専攻科修了式
- ※イベント情報は変更になる場合があります。青字は「芸短フェスタ2015」イベント。

情報をいち早くGet!

〈大学ホームページ〉
<http://www.oita-pjc.ac.jp/>



芸文短大

検索



大学公式facebook



音楽科



OITA
GEITAN
VISUAL
DESIGN

美術科ビジュアルデザインコース



国際総合学科



美術科メディアデザインコース



情報コミュニケーション学科



Epistula vol.41：訂正

page 6「表紙の顔」の4、5行目で、「ビジュアルデザインコース」と記載しておりますが、正しくは「美術コース」です。